

老後を変える 全国47都道府県大調査



メットライフ生命 老後を変える全国47都道府県大調査

調査概要

調査対象 全国47都道府県に在住（調査実施時点）の20代～70代の男女、各都道府県で性・年代別 各30人（60代～70代は合算）合計14,100人

調査方法 インターネット調査

調査数 14,100人

調査時期 2021年6月18日（金）～6月21日（月）

※スコアは集計時に各都道府県の性・年代の人口動態の構成比に合わせて、ウェイトバック集計を行っています。

※集計データの構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

※提示しているスコアについては、四捨五入の関係上、足し引きした場合に数値が増減する場合があります。

#老後を変える

#老後を変える

かつてない長寿社会を迎える日本。

人生100年時代を元気に長生きできる「健康寿命」に加え、
お金の心配をせずに暮らせる「資産寿命」、人とのつながりの中で
生き甲斐を実感できる「貢献寿命」を延ばすにはどうすればよいのか。
メットライフ生命は、「老後を変える」をお客さまとの約束に掲げ、
2017年よりさまざまな取り組みを進めてきました。

この取り組みの一環として実施しているのが、

「老後を変える全国47都道府県大調査」です。

明るく豊かな老後のあり方や必要な「行動」を考える礎として
「老後」についての意識や「健康」「お金」「人とのつながり」への
意識や傾向を明らかにするために、定点調査として2018年から行っています。

4回目となる2021年は、特に「コロナ禍2年目を迎えた意識の変化や老後への備え、
ライフデザインについての価値観」に焦点をあて、
年代間や男女間での傾向の違いと、47都道府県別に結果をまとめました。
調査結果をさまざまな領域の企業や団体とも共有しながら、
老後を変える大きな動きを社会全体でつくっていきたいと考えています。

これからも当社は、人生100年時代を迎えるといわれる日本において、
多様化し急速に変化するお客さまのニーズを深く理解して商品やサービスに生かしながら、
よりたしかな未来に向けて継続的な責任を果たすことを目指していきます。



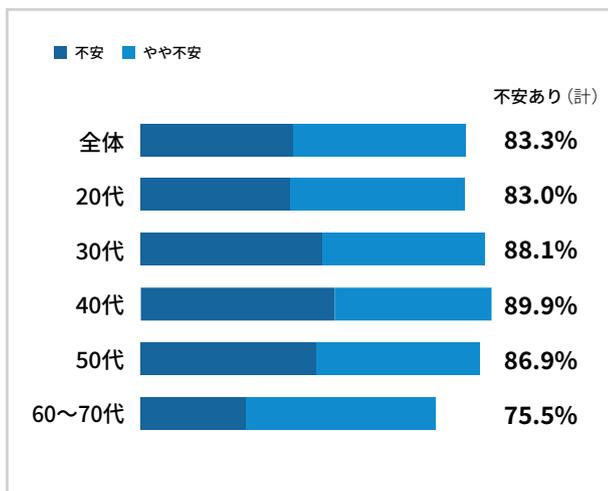
老後を変える全国47都道府県大調査

全国の20～70代の男女14,100人を対象に、「老後」に対する意識や取り組みについてお聞きしました。その結果、皆さまが老後に対して抱いているさまざまな不安や期待、本音などが浮かび上がってきました。

8割以上が老後に不安

自分自身の将来に不安があるか聞いたところ、8割以上(83.3%)が自らの老後に不安を感じており、特に40代で最も高い傾向が見られました。

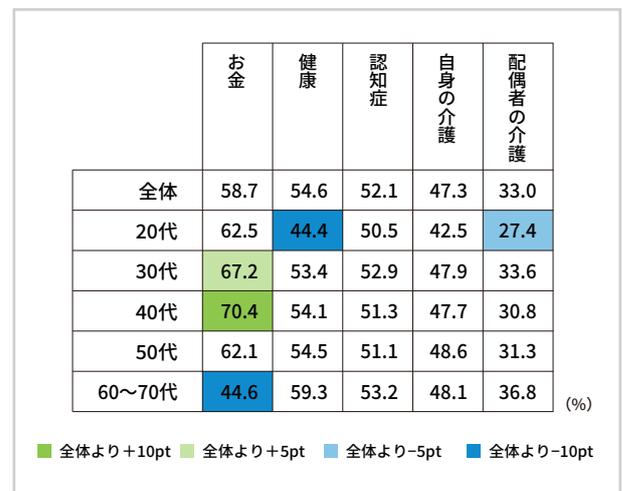
老後について不安を感じるか



お金、健康、認知症が4年連続トップ3

老後の不安について聞くと、全体では「お金」が58.7%のトップで、この傾向は調査開始の2018年から4年間続いています。

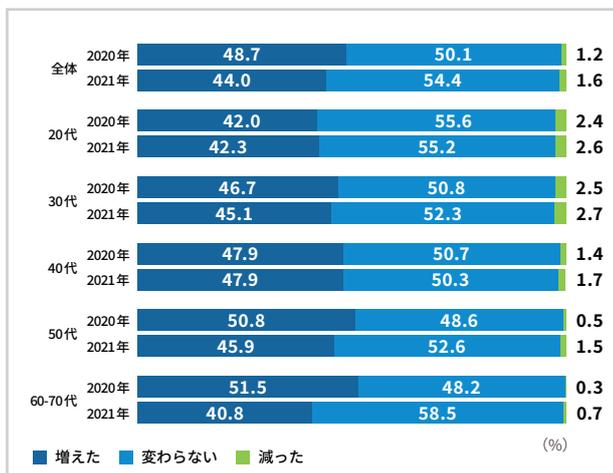
老後について心配・不安だと感じること



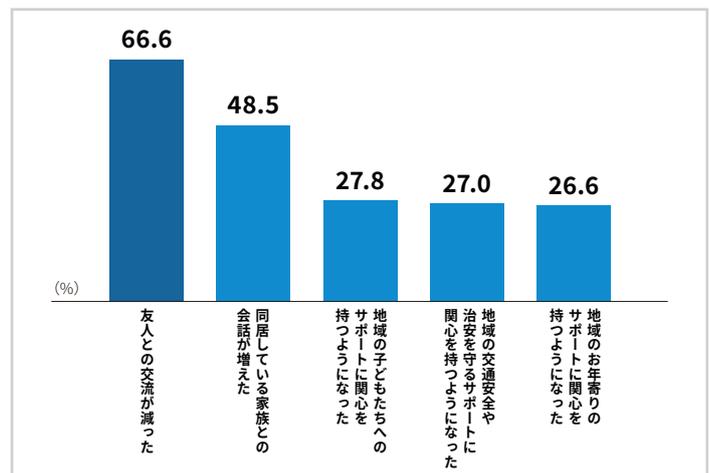
！ コロナ禍2年目で不安は継続する一方、人とのつながりを重視

老後不安は新型コロナウイルス感染症拡大により増えていると答える人が多いものの、コロナ禍2年目で、2020年よりも不安が増えたと答えた人が減っています。高齢層、特に60～70代では10pt以上減少しています。ワクチンの浸透等の背景もあり、コロナ慣れが垣間見えます。コロナにより、人とのつながりに対する意識や行動の変化については、「友人との交流が減った」(66.6%)が最も多くなりました。家族や友人についての変化に次いで、「地域の子どもたちへのサポート」「地域の交通安全や治安を守る」「地域のお年寄りのサポート」などに関心を持つようになった方が多いという結果になっています。

新型コロナの影響による老後の不安の変化



新型コロナウイルス感染症拡大が社会問題化してから、人とのつながりに対するあなたの意識や行動はどのように変化しましたか。



お金について



老後のために金融資産を備える人が約6割

老後の備えとなる金融資産を貯めているかどうかを聞いたところ、「計画的に貯めている」「計画的ではないが、少しずつ貯めている」と回答したのは全体で62.3%となっています。若い世代で増えていることもポイントです。

老後の備え<対2019年・2020年比較>

	「計画的に貯めている」+「計画的ではないが、少しずつ貯めている」				
	2019年	2020年	2021年	(2019年比)	(2020年比)
全体	56.4	61.4	62.3	+5.9	+0.9
20代	48.8	54.1	56.7	+7.9	+2.6
30代	58.6	63.3	62.7	+4.1	-0.6
40代	56.1	58.3	58.5	+2.4	+0.2
50代	56.7	62.0	61.2	+4.5	-0.8
60~70代	58.3	64.8	67.1	+8.8	+2.3

全体 (n=14,100) 20代 (n=1,859) 30代 (n=2,344) 40代 (n=2,762) 50代 (n=2,319) 60~70代 (n=4,816) [人]

※不動産・土地等の資産は除き、金融資産のみ。
※金融資産には生命保険・共済の保険商品も含む。

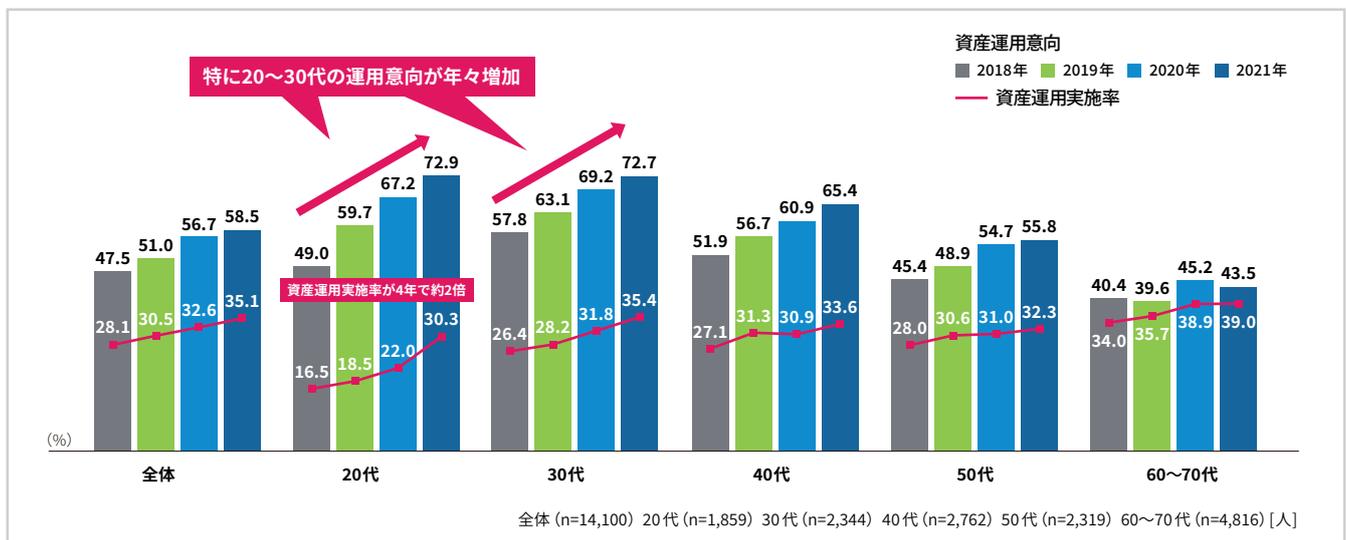


資産運用意向は経年で大きく増加

今年の注目!

「今後の資産運用意向がある」「(したい)」「(や)したい」と回答した方は、全体の58.5%で、年代別に見ると、20代で72.9%、30代で72.7%と、若い層での運用意向が年々増加しています。特に20代では、過去4年で資産運用をしている方が約2倍に増えています。

資産運用の意向と資産運用実施率<対2018年・2019年・2020年比較>



お金について



老後が不安でなくなるボーダーラインは、2,334万円？

今年の注目！

老後の備えに必要なと思う金融資産は、全体では平均「2,853万円」で、「2,000～2,999万円」の割合が最も高くなっています。コロナ初年度の2020年は、将来不安が増幅され全体平均で「3,000万超」と2019年よりも増加となりましたが、2021年はコロナ慣れもあり、2020年よりも不安が減少。コロナを受け、支出要因が減ったため、必要資金が下がったと考えられます。また、老後が不安でないと答えた人の平均金額は「2,334万円」という興味深いデータも出ています。

現在の保有金融資産額と、老後の備えに必要な金融資産と自らが想定する金額、ギャップ/平均値(2020年対2021年比)

	現在の保有金融資産 (万円)				老後の備えに必要な金融資産と自らが想定する金額 (万円)				差額 (万円)	
	2020年 2021年	2020年	2021年	2020年対 2021年比	2020年 2021年	2020年	2021年	2020年対 2021年比	2020年	2021年
全体	n=14,001 n=14,011	1,158	1,184	+26	n=13,830 n=13,867	3,007	2,853	-155	-1,850	-1,669
20代	n=1,848 n=1,853	385	294	-92	n=1,824 n=1,833	2,673	2,362	-311	-2,287	-2,068
30代	n=2,338 n=2,339	567	632	+65	n=2,313 n=2,323	2,883	2,822	-61	-2,316	-2,190
40代	n=2,751 n=2,748	855	899	+43	n=2,703 n=2,714	3,015	2,950	-65	-2,160	-2,052
50代	n=2,314 n=2,310	1,174	1,149	-25	n=2,273 n=2,276	3,028	2,953	-75	-1,855	-1,804
60～70代	n=4,750 n=4,761	1,916	1,982	+66	n=4,718 n=4,721	3,184	2,955	-229	-1,267	-973

※不動産・土地等の資産は除き、金融資産のみ。 ※金融資産には生命保険・共済の保険商品も含む。



資産運用しない理由は、「損やリスクを取りたくないから」

資産運用の意向があるが、現在していない理由について聞いたところ、「損やリスクを取りたくないから」が全体でトップになりました。資産運用の知識取得は、「インターネット」が最も高く、49.4%となっています。次いで「書籍」(21.9%)、「テレビ」(19.1%)が続きます。

資産運用をしていない理由(上位8項目)

	損やリスクを取りたくないから	貯蓄がなから運用するほどの知識がないから	金融や資産運用に関する知識がないから	わからなければいいから	不安があるから	漠然とした	資産運用の選択が難しいから	常に市場の動向をチェックするのが煩わしいから	良い金融機関がわからないから
全体	42.2	40.6	27.6	27.3	24.1	16.0	14.1	12.8	
20代	31.6	37.9	27.5	39.3	23.2	18.5	12.6	16.2	
30代	39.9	36.8	33.3	38.9	29.3	22.4	16.2	16.4	
40代	43.5	42.4	31.8	33.4	26.0	18.1	15.8	14.8	
50代	43.2	40.7	28.3	24.4	23.9	15.1	14.4	14.3	
60～70代	46.7	42.6	21.7	13.7	20.8	10.8	12.4	7.4	

全体 (n=9,154) 20代 (n=1,296) 30代 (n=1,513) 40代 (n=1,835) 50代 (n=1,571) 60-70代 (n=2,938)

■ 全体より+10pt ■ 全体より+5pt ■ 全体より-5pt ■ 全体より-10pt

資産運用知識獲得方法(上位8項目)

	インターネットで調べる	書籍を読む	テレビを見る	新聞を読む	家族・友人・知人の話から	雑誌を読む	SNSの記事や投稿	動画閲覧サイトを見る(MoTeaなど)
全体	49.4	21.9	19.1	17.5	14.2	11.4	10.9	10.8
20代	47.6	29.4	12.4	7.8	15.8	10.3	25.6	20.3
30代	54.9	29.7	14.9	10.3	16.7	13.1	20.2	17.6
40代	54.2	23.3	17.1	12.9	15.0	12.8	10.7	12.6
50代	48.5	20.6	18.8	16.9	11.8	11.9	5.6	7.0
60～70代	45.1	15.1	25.0	27.7	12.9	10.1	3.5	4.8

全体 (n=14,100) 20代 (n=1,859) 30代 (n=2,344) 40代 (n=2,762) 50代 (n=2,319) 60-70代 (n=4,816)

■ 全体より+10pt ■ 全体より+5pt ■ 全体より-5pt ■ 全体より-10pt

健康について

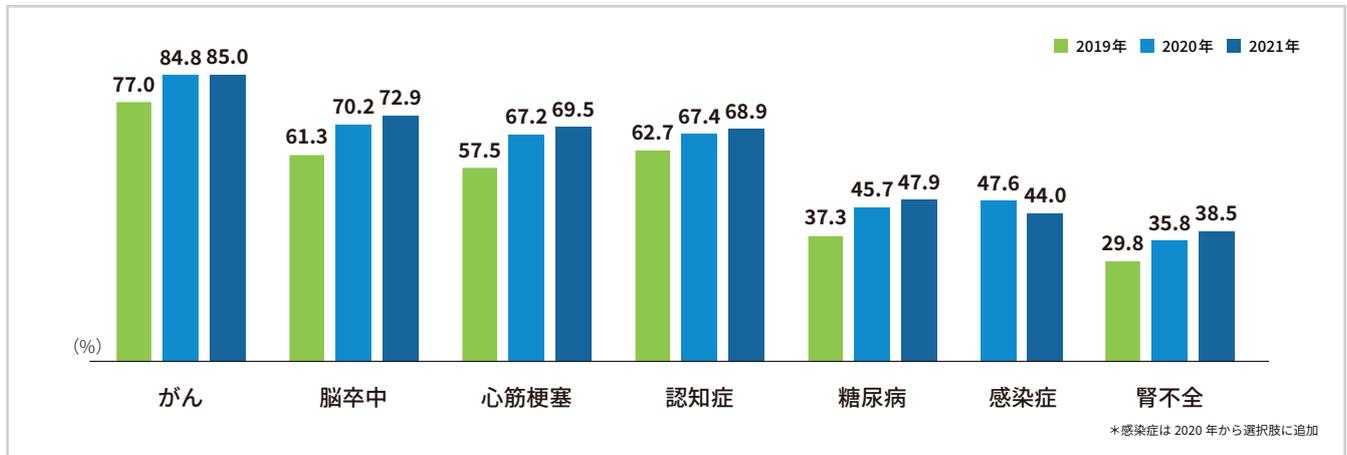


コロナ禍で、病気全般への不安が高まっている

今年の注目!

何の病気になることが怖いという質問に対しては、「がん」が85.0%で最も高く、次いで「脳卒中」「心筋梗塞」「認知症」と続きます。また、コロナ禍により病気全体への数値が上がっており、中でも「糖尿病」「腎不全」などへの不安が挙げられていることもポイントです。

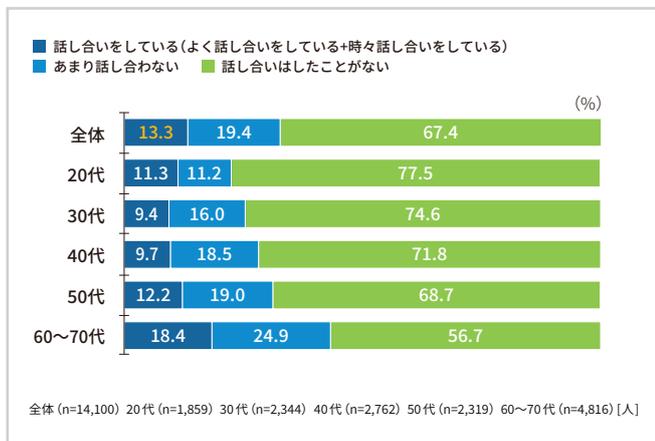
怖いと感じている病気について



介護について家族と話し合いをしている人は13.3%と少ない

ご自身もしくは家族の介護に対して、どのくらい不安を感じているかについては、「自分自身」(75.8%)、「配偶者」(74.7%)が特に高く、続いて、自分の母親(48.9%)、配偶者の母親(40.9%)、自分の父親(37.2%)、配偶者の父親(30.2%)とどの項目も3割を超えています。介護について家族と「話し合いをしている」人は全体で13.3%となっており、1割程度に過ぎません。

介護について家族との話し合い



介護に対しての不安

不安の項目	2020年		2021年	
	前年より+5pt	前年より+3pt	前年より-3pt	前年より-5pt
自分自身が介護状態になること	76.7	75.8	74.6	74.7
配偶者が介護状態になること	74.6	74.7	74.8	74.8
自分の母親が介護状態になること	48.4	48.9	39.8	40.9
配偶者の母親が介護状態になること	36.6	37.2	29.8	30.2
自分の父親が介護状態になること	37.2	37.2	29.8	30.2
配偶者の父親が介護状態になること	29.8	30.2	29.8	30.2

世代	自分自身が介護状態になること (%)	配偶者が介護状態になること (%)	自分の母親が介護状態になること (%)	配偶者の母親が介護状態になること (%)	自分の父親が介護状態になること (%)	配偶者の父親が介護状態になること (%)
全体	76.7	75.8	74.6	74.7	48.4	48.9
20代	67.6	70.1	68.8	68.2	72.5	73.2
30代	70.8	74.5	68.6	74.8	72.2	76.1
40代	77.8	74.7	73.5	72.9	70.2	68.1
50代	80.6	78.5	75.8	75.5	52.8	49.7
60~70代	80.6	78.0	77.7	76.1	12.8	15.0

全体(n=14,100) 20代(n=1,859) 30代(n=2,344) 40代(n=2,762) 50代(n=2,319) 60~70代(n=4,816) [人]

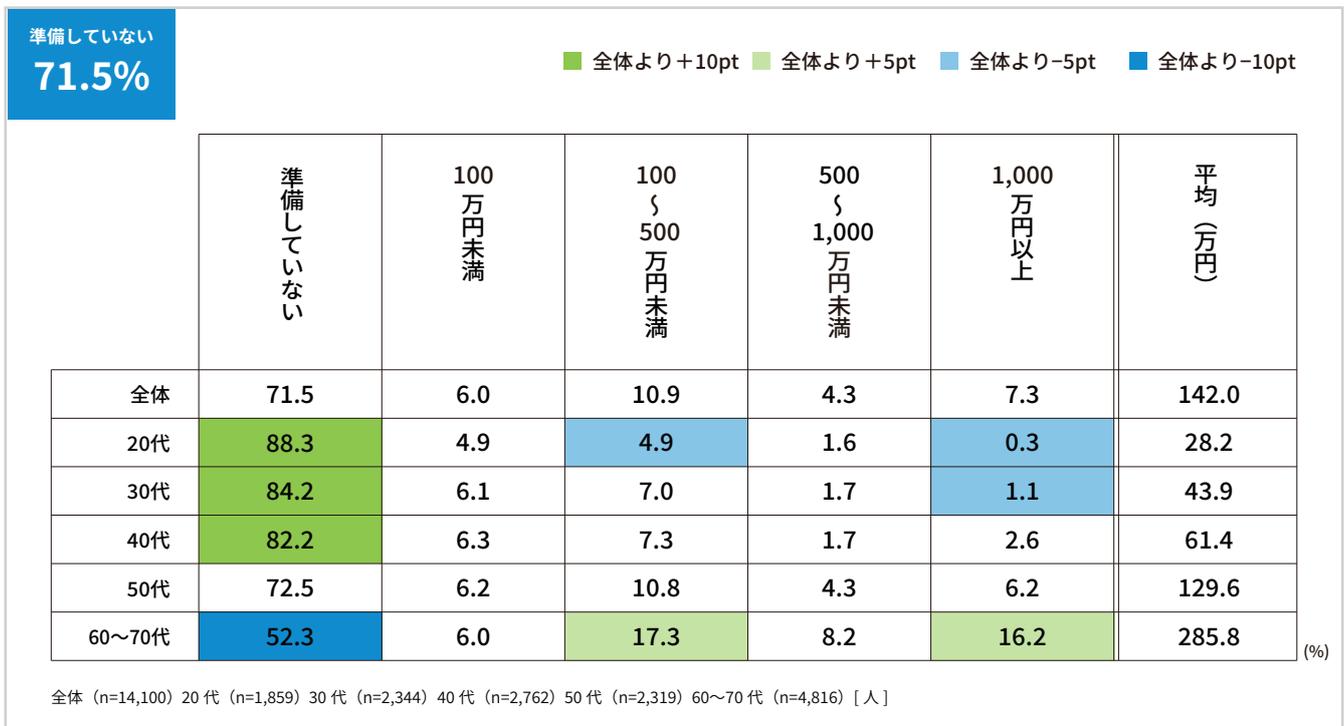
健康について



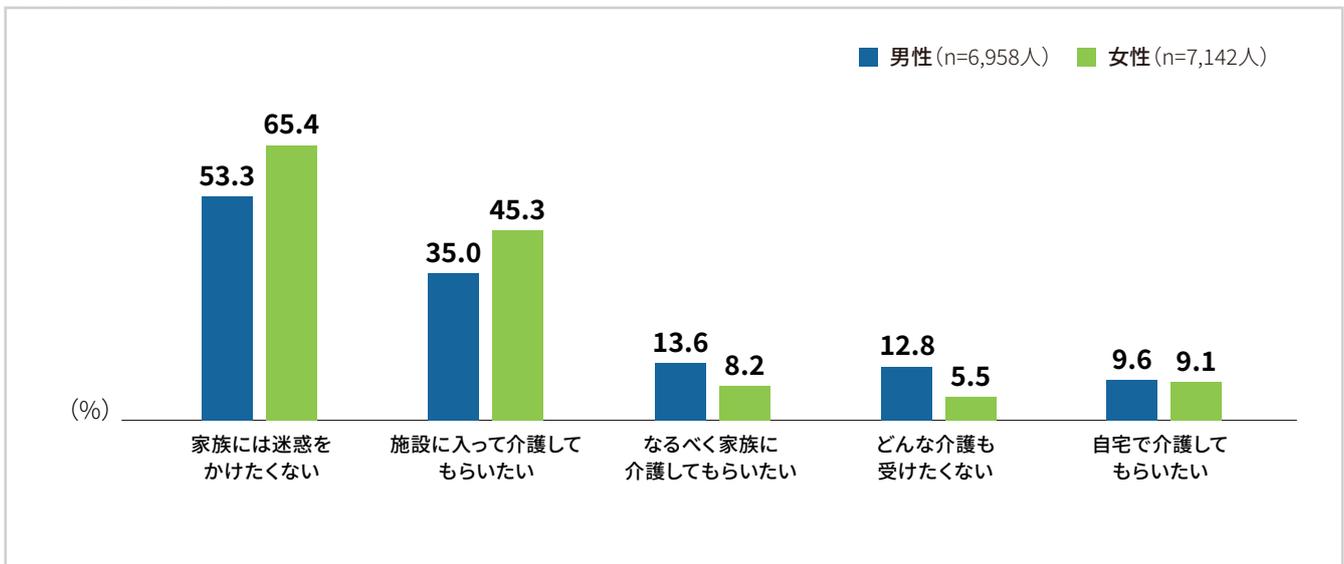
自らの介護の準備をしていない人が約7割

自分の介護の心配をしている人が約7割でしたが、ここでは自らの介護費用の準備をどの程度しているか聞いたところ、「準備していない」が71.5%となりました。60～70代では準備している人が約半数で、平均金額も300万円に迫っています。

自らの介護費用の準備について



どのように介護してもらいたい



人とのつながりについて



老後に向け「人とのつながり」意識が向上

今年の注目!

人生100年時代を迎えつつあり、コロナ禍2年目となった2021年。今の気持ちについて伺ったところ、「人とのつながりを大事にしている」「生きがいを持っている」を挙げた方が約4割でした。もしも100歳まで生きるなら、必要なものは健康+お金に加えて、「人とのつながり」を挙げている方が多く見られました。

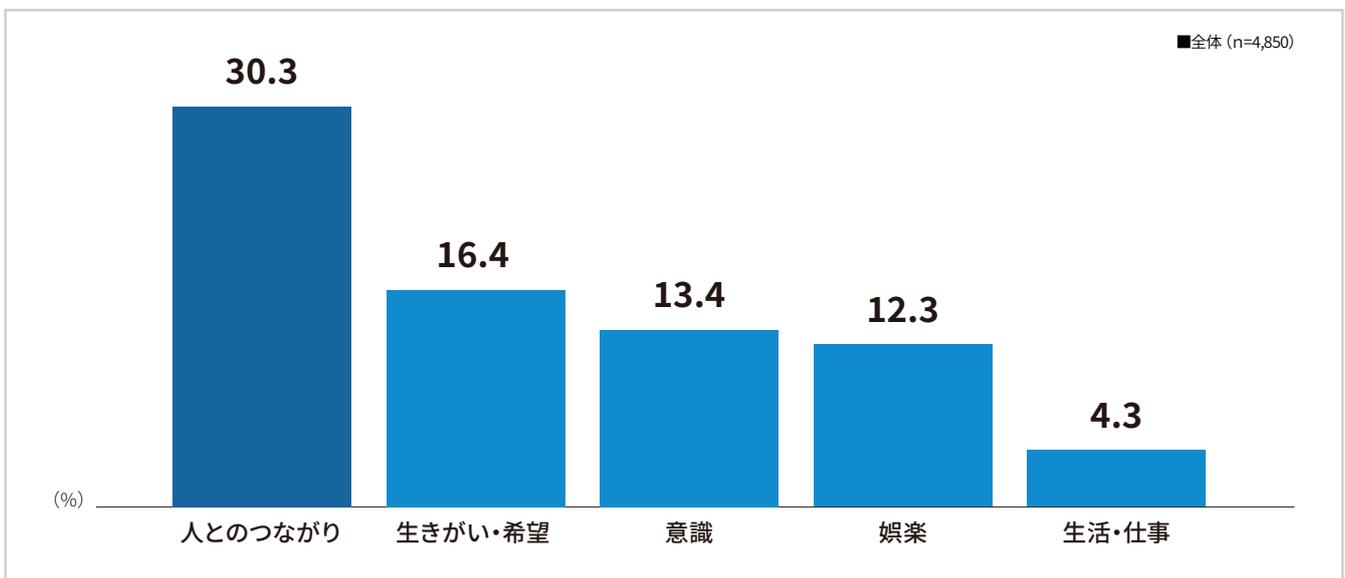
人とのつながりなどについて、あなたの現在の状況をおうかがいします

	自分の生きがいを持っている	友人などのコミュニティやつながりを大事にしている	「将来、どんな人生を送りたいか」についての自分の構想(ライフデザイン)を描けている	地域コミュニティなど、地元を大切にしている	ボランティア活動などの社会貢献活動に参加している
全体	40.0	39.5	20.9	19.8	11.6
20代	41.4	48.3	28.2	21.0	12.3
30代	37.9	38.6	22.1	17.3	9.1
40代	34.4	31.7	15.8	15.1	9.0
50代	35.4	32.4	18.6	15.3	10.5
60~70代	45.9	44.4	21.6	25.4	14.7

(%)

■ 全体より+10pt
 ■ 全体より+5pt
 ■ 全体より-5pt
 ■ 全体より-10pt
 全体 (n=14,100) 20代 (n=1,859) 30代 (n=2,344) 40代 (n=2,762) 50代 (n=2,319) 60~70代 (n=4,816) [人]

もしも私が100歳まで生きるなら、必要なのは「お金+健康+」



豊かな老後を送るためのヒントとは



夢を持ちライフデザインを描くことが豊かな老後につながる

今回初めての試みとして、将来の夢の有無を聞いたところ、夢があると答えた人は26.7% (3,760人) で、4人のうち3人は夢がないという結果となりました。夢の助けになることとして、経済的な準備と健康を挙げる方が全体の6割以上となっています。

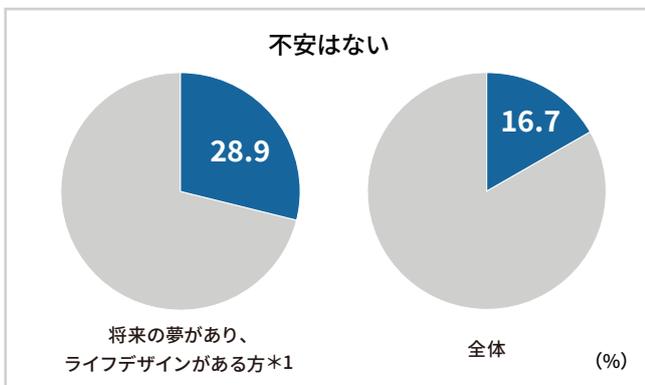
夢の有無と夢の助けになること

	将来の夢、実現したいことはありますか？			夢の助けになること					
	ある	今のところない	わからない	経済的な準備	健康増進	自分のやる気 を高めること	仲間がいること・ 仲間をつくること	専門的な知識を 得ること	家族の理解を 得ること
全体	26.7	56.3	17.0	64.4	60.0	49.6	34.1	32.4	28.8
20代	32.1	52.7	15.2	63.8	48.1	49.0	41.0	39.4	32.8
30代	29.5	54.7	15.7	69.9	54.5	43.6	38.5	36.9	30.9
40代	24.7	58.4	16.9	62.8	57.1	47.4	30.5	34.2	30.6
50代	23.7	56.6	19.6	69.0	64.0	53.8	31.5	31.5	26.4
60~70代	25.7	57.0	17.2	60.3	68.7	52.4	31.4	26.0	25.8

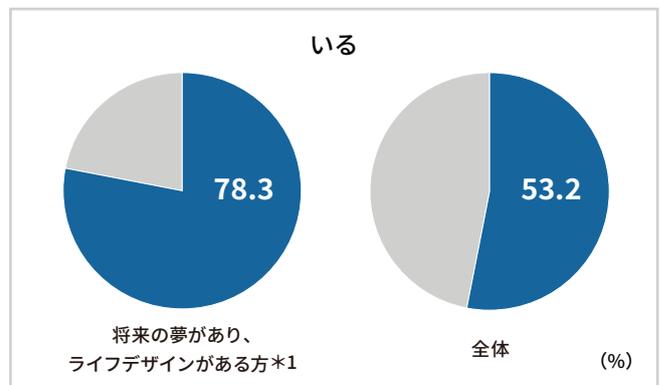
n=14,100
 全体(n=3,760) 20代(n=596) 30代(n=692) 40代(n=682) 50代(n=550) 60~70代(n=1,240)[人]
 ■全体より+10pt ■全体より+5pt ■全体より-5pt ■全体より-10pt

将来の夢があると答えていて、さらに「将来、どんな人生を送りたいか」についての自分のライフデザインを描いている人の方が、老後への不安が少なく、老後も人とのつながりが多いと考えているようです。さらに、老後もやりたいことに溢れ、新しい挑戦への意欲が高く、将来の生活への自信が高くなっています。

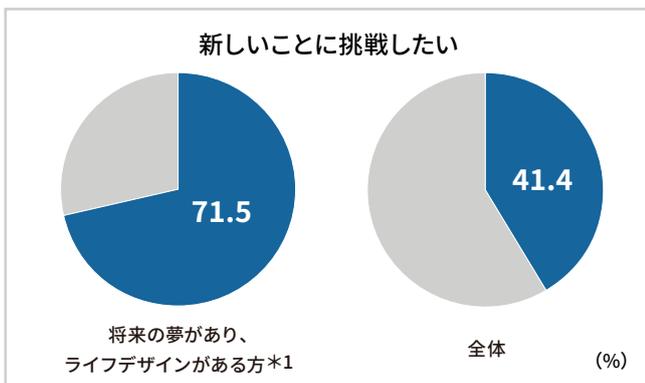
あなたはご自身の老後について、どの程度不安をお持ちですか？



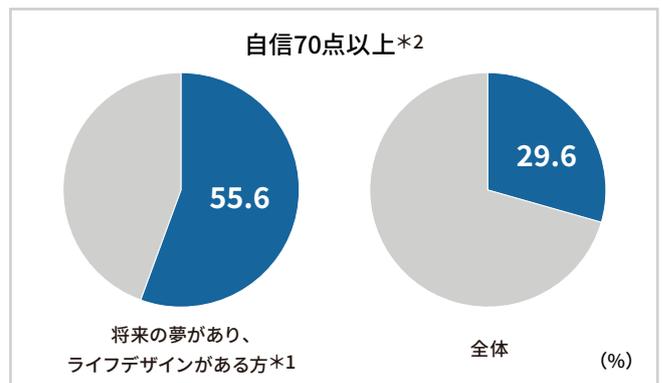
あなたは、老後も(一生)付き合える友人がいますか。



どんな老後生活を送りたいと考えていますか。



あなたは、将来の生活への自信についてどのようにお感じですか。



*1 n=1,627

定義:「将来の夢の有無」で、「将来の夢がある」と答えている、かつ「将来、どんな人生を送りたいか」についての自分の構想(ライフデザイン)を描いている」に対して「あてはまる」「ややあてはまる」と答えている

*2 将来の生活への自信について、自己採点を70点以上とつけた方

47 都道府県版



全国版で掲載した主要項目に関し、スコアの高かった都道府県5つを取り上げてみました。最初の表は、老後不安があると答えた人と、新型コロナにより老後の不安が増えたと答えた人の多い都道府県で、同じ老後不安でも新型コロナの要因を考慮するとまったく違う都道府県が上位に来る結果となりました。また、中央の表では、老後資金を貯めている人が多い都道府県と、老後資金の理想と現実(必要と思う金額と現在の保有額)の差が少ない上位5つの都道府県を掲載しています。今回の調査で初めて聞いた、将来の夢ややってみたいことがあると答えた人が多い都道府県も、資産運用意向や資産運用実施率と比べてみると、興味深い結果となっています。

	老後不安がある (%)		新型コロナで老後不安が増大 (%)	
	全体	83.3	全体	44.0
1	福島県	89.4	青森県	50.5
2	岩手県	88.9	宮崎県	50.3
3	新潟県	88.5	宮城県	48.4
4	静岡県	88.1	茨城県	47.6
5	富山県	88.1	東京都	47.2

	老後資金を ☑貯めている (%)	差額が少ない 都道府県	現在の保有 金融資産額 (万円)	老後の備え 必要資産額 (万円)	差額 (万円)	
	全体	62.3	全体	1,184	2,853	-1,669
1	神奈川県	69.4	石川県	1,530	2,590	-1,059
2	滋賀県	67.3	秋田県	915	2,027	-1,112
3	東京都	66.6	和歌山県	1,658	2,796	-1,138
4	三重県	66.3	宮崎県	778	2,088	-1,310
5	山口県	66.0	山口県	1,187	2,542	-1,355

	資産運用意向 (%)	資産運用実施率 (%)	将来の夢がある人 (%)	
	全体	58.5	全体	26.7
1	沖縄県	67.5	兵庫県	31.1
2	滋賀県	66.0	埼玉県	30.6
3	東京都	64.5	神奈川県	30.2
4	島根県	64.3	三重県	29.7
5	栃木県	64.0	富山県	29.6

47 都道府県版



全国47都道府県での各項目のスコアを並べてみました。

(人)		老後不安がある (%)	新型コロナで老後不安が増大 (%)	老後資金を貯めている (%)	現在の保有金融資産額 (万円)	老後に必要な金額 (万円)	差額 (万円)	資産運用意向 (%)	資産運用実施率 (%)	将来の夢がある人 (%)
14,100	全体	83.3	44.0	62.3	1,184	2,853	-1,669	58.5	35.1	26.7
606	北海道	78.6	42.5	58.6	969	2,594	-1,625	52.3	29.7	25.2
145	青森県	86.0	50.5	54.8	806	2,721	-1,915	55.9	25.9	23.1
140	岩手県	88.9	38.6	57.7	1,011	2,773	-1,762	50.4	28.2	29.0
255	宮城県	85.2	48.4	53.8	905	2,470	-1,565	52.5	30.3	23.5
112	秋田県	85.4	39.3	53.5	915	2,027	-1,112	52.5	29.7	23.4
121	山形県	85.8	46.6	57.4	878	2,524	-1,646	55.7	28.9	26.2
209	福島県	89.4	46.2	55.6	955	2,423	-1,468	53.4	27.7	23.5
325	茨城県	86.2	47.6	61.5	1,070	2,618	-1,549	58.0	31.7	26.5
221	栃木県	80.3	46.9	60.3	788	2,640	-1,852	64.0	33.1	25.8
217	群馬県	86.4	46.8	59.2	997	2,579	-1,582	52.9	28.3	23.5
829	埼玉県	81.5	42.9	65.6	1,276	2,806	-1,529	62.9	41.7	24.7
703	千葉県	77.9	41.6	53.7	1,058	2,502	-1,444	56.3	34.0	29.0
1,550	東京都	83.8	47.2	66.6	1,438	3,123	-1,685	64.5	39.2	31.1
1,036	神奈川県	83.8	42.1	69.4	1,229	3,261	-2,032	62.4	41.2	27.9
252	新潟県	88.5	43.6	59.2	1,096	2,556	-1,460	54.5	30.8	27.9
117	富山県	88.1	41.8	57.3	839	2,515	-1,676	62.0	40.5	22.1
125	石川県	84.4	43.1	61.1	1,530	2,590	-1,059	57.3	37.5	27.7
84	福井県	85.1	45.3	63.1	1,145	2,781	-1,636	59.6	34.1	22.8
91	山梨県	86.8	45.6	60.6	1,175	3,141	-1,966	54.6	35.5	29.3
225	長野県	87.4	44.3	59.9	802	3,037	-2,235	56.9	30.7	25.2
223	岐阜県	85.1	44.3	65.1	1,058	2,869	-1,811	53.5	33.3	27.9
409	静岡県	88.1	42.1	63.8	933	3,108	-2,176	54.3	34.9	21.0
832	愛知県	84.6	43.1	65.4	1,344	2,944	-1,601	62.6	34.8	23.5
199	三重県	78.6	46.1	66.3	1,339	3,265	-1,926	56.5	41.2	24.0
154	滋賀県	82.3	42.5	67.3	1,262	2,859	-1,597	66.0	39.6	30.6
287	京都府	83.8	46.1	65.0	1,527	3,047	-1,520	59.4	33.7	29.6
992	大阪府	83.3	45.2	65.0	1,373	2,839	-1,467	54.7	35.0	26.4
611	兵庫県	82.0	43.5	63.7	1,372	3,188	-1,816	63.3	44.2	30.2
151	奈良県	80.4	35.1	58.3	1,357	3,247	-1,889	55.9	32.1	23.9
106	和歌山県	77.0	38.7	64.7	1,658	2,796	-1,138	60.2	34.9	25.3
61	鳥取県	82.4	37.0	61.7	1,120	2,795	-1,674	53.8	30.7	27.7
73	島根県	87.5	44.0	65.6	1,512	2,892	-1,380	64.3	37.1	26.2
206	岡山県	86.3	42.6	59.0	1,131	2,807	-1,676	58.0	35.2	26.4
310	広島県	80.3	41.5	60.2	1,036	3,213	-2,176	52.2	34.4	27.7
153	山口県	85.6	42.9	66.0	1,187	2,542	-1,355	53.1	35.7	24.3
82	徳島県	81.9	44.4	58.8	1,057	2,527	-1,471	53.8	32.9	25.9
105	香川県	85.2	42.5	65.9	1,193	2,911	-1,718	63.6	35.4	25.9
149	愛媛県	84.8	37.4	57.0	951	2,586	-1,635	50.8	29.5	23.9
78	高知県	84.0	41.2	62.4	1,084	2,683	-1,599	62.5	34.6	27.0
559	福岡県	80.3	42.7	59.8	1,251	2,879	-1,629	57.9	31.9	26.9
89	佐賀県	84.0	42.7	55.3	1,126	2,679	-1,554	53.1	23.8	24.0
148	長崎県	84.2	43.5	62.7	1,177	2,563	-1,386	56.0	29.6	21.7
191	熊本県	82.1	44.1	55.8	920	2,587	-1,667	55.7	30.6	25.7
126	大分県	83.1	45.1	51.1	863	2,372	-1,509	51.1	25.1	25.7
118	宮崎県	83.7	50.3	57.6	778	2,088	-1,310	54.2	24.5	25.7
174	鹿児島県	80.3	46.1	60.2	930	2,566	-1,636	59.1	29.5	27.8
151	沖縄県	79.2	46.6	61.9	886	2,666	-1,780	67.5	33.0	29.7

調査結果から見えてきたこと

コロナ禍2年目、 もしも100歳まで生きるなら、 必要なものは健康＋お金＋「人とのつながり」

人生100年時代を迎えつつある日本では、2035年には人口の約3分の1を高齢者が占めることになると予測されています(2012年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による)。
明るく豊かな長寿社会を実現するために、当社では、心身ともに自立して健康的に生活できる期間(健康寿命)、保有する資産を維持していく期間(資産寿命)、そして、人や社会・組織とつながり貢献し続けられる期間(貢献寿命)の3つの寿命のバランスを保ちながら延ばすことが重要だと提唱しています。

今回の調査を通じて見えてきたことは、
2年目となったコロナ禍がもたらしたものが、単に病気への不安や怖さだけではなく、これまで以上に「健康寿命」と「資産寿命」への意識を高めているということ。
そして自分の将来を自分で考えて行動する人が増えてきているということです。
さらに、人との交流の制限によって、逆に人とのつながりの重要性について改めて気づいた人も多く、家族との絆、地域やボランティアへの関心が高まり、前向きに生きるというポジティブな変化も進みました。
明るく豊かな老後を過ごすためには、人とのつながりを大切にしながら、前向きに将来の夢やライフデザインを持つことが、老後を変える重要なポイントとなります。

メットライフ生命は、「資産寿命」「健康寿命」を延ばすためのソリューション(保険商品、付帯サービス)を開発提供し、日本のお客さまの老後を明るく自信あふれるものに変えるサポートをしていきたいと願っています。
人生100年時代に向け、お客さまに安心して老後を変えていただけるよう、当社は人生のパートナーとして、より確かな未来に向け長きにわたりともに歩みつづけます。



